

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅱ					実務家教員担当科目	-				
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	金谷 めぐみ										
授業概要	保育士として求められる音楽の基礎技能について教授する。合唱を通して主体的な力、協働的な力、そして創造的な力を、一人ひとりの能力に応じて高める。保育内の理解と方法Ⅰで獲得した技術を活かして、ピアノの演奏技術をさらに高め、弾き歌いや伴奏法について教授する。学生のピアノの演奏技能の程度によって、グループ別、個別に授業を行う。										
授業形態	実技指導				授業方法	グループ、個別指導					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 合唱の体験を通して表現豊かに歌うことができる。 3. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 4. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。 										
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 曲想を表現しながら演奏できるピアノ演奏技能を身につけている。 2. 合唱の体験を通して表現に工夫を加えて豊かに歌うことができる。 2. 様々な調の子どもの歌の弾き歌いの曲を、表現豊かに演奏できる。 3. 弾き歌いの際、周りの状況や子どもに配慮した演奏ができる。 										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験											
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	100%					合唱：40 子どもの歌の弾き歌い：50 授業への積極的な参加姿勢：10					
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21625J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
ピアノ練習、歌の練習										1	
授業計画											
第1回	声楽の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・移調 子どもの歌の弾き歌い										
第2回	声楽の基礎：合唱										

	<p>器楽演奏技術：伴奏法・移調 子どもの歌の弾き歌い</p>
第3回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・移調 子どもの歌の弾き歌い</p>
第4回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・リズムパターン 子どもの歌の弾き歌い</p>
第5回	<p>声乐の基：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・リズムパターン 子どもの歌の弾き歌い</p>
第6回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・リズムパターン 子どもの歌の弾き歌い</p>
第7回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（活動：動きに合わせた音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第8回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（活動：動きを引き出す音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第9回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（年中行事の音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第10回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（年中行事の音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第11回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（年中行事の音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第12回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（年中行事の音楽） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第13回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（即興アレンジ） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第14回	<p>声乐の基礎：合唱 器楽演奏技術：伴奏法・様々なシーンに合わせた音楽（即興アレンジ） 子どもの歌の弾き歌い</p>
第15回	<p>実技試験</p>

テキスト	『保育士・幼稚園教諭 小学校教諭養成のためのピアノテキスト』 カワイ出版 『コールユーブンゲン』 音楽之友社 『楽しくうたあそび 123』 ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「バイエルの謎」 安田 寛 著 音楽之友社 「ブルクミュラー25の不思議」 飯田 有抄・前島美保 著 音楽之友社
課題に対するフィードバックの方法	各自に配布する進行表に進度状況およびコメントを記入して返却する
学生へのメッセージ・コメント	保育の表現技術1で学んだ音楽の基礎知識および演奏技術を復習して確実に理解しておきましょう。保育の表現技術1で弾けるようになった曲を、練習しておきましょう。 ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にも、できるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。

